

まってるよ!



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム (WebOPAC) から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。
- 開館時間 午前9時～午後7時 (日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日 (祝日の場合翌日) 《4月の休館日》6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)

4月の中央展示『お・で・か・け!』

長い冬を越え、そろそろ春が来ます。動物や虫、草花も活動的になる季節です。わたしたちも、これまで我慢していた外遊びをしたり、行きたかったあの場所に出かけてみませんか?



『全国温泉大全』
(松田 忠徳//著 東京書籍)
これまでに4000以上の温泉に浸かった温泉教授がおくる、湯めぐりバイブル。入浴作法や外湯めぐり、泉質や効能など、「温泉場」を楽しむ極意を伝える。全国の温泉施設を700軒以上掲載。データ：2022年9月現在。

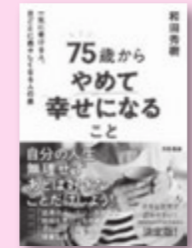
- ・『おいしい道の駅ドライブ 東北 [2022]』(昭文社)
- ・『キャンプと楽しむ釣り入門』(つり人社書籍編集部//編 つり人社)
- ・『るるぶあそんでおぼえるおでかけマナー 週末編』(しみず だいすけ//著 遠藤 利彦//監修 JTBパブリッシング)
- ・『世界の外あそび学じてん』(こどもくらぶ//編さん 今人舎)

今月は、どの本を読む?

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!



『家族でテキ屋をやっていました』
(高里 杏子//著 彩図社)
テキ屋はどんな組織なのか。扱う商品は誰が決めるのか。どれくらい儲かるのか。商売の縄張りは…。テキ屋の娘として生まれ育った著者が、自身の半生を振り返りながら、テキ屋のリアルを綴る。



『75歳からやめて幸せになること』
(和田 秀樹//著 大和書房)
自分の人生無理せず、あとは好きなことだけをしよう! 医者や職人の言いなりをやめる、地味な格好をやめるなど、75歳を機に可能な限り老いを遅らせるために「やめた方がいいこと」を、大きな文字でわかりやすく伝える。

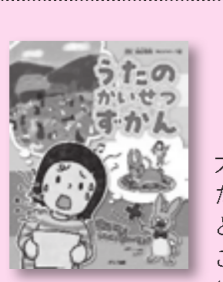
『戦国家臣団 最強28家261人』

(矢部 健太郎//監修 宝島社)
イノベーションがカギを握る最強の戦国家臣団とは!? 門閥より能力を優先した徳川家臣団、機能的かつ厳格な構成の武田家臣団など、最強28家261人の勇将・智将・軍師を紹介。主従関係から合戦時の編成まで徹底図解する。



『方舟』

(夕木 春央//著 講談社)
地震によって山奥の地下建築に閉じ込められた終一たち。水が流入しはじめ、地下建築の水没までおよそ1週間。地下建築から脱出するためには、9人のうち誰か1人を犠牲にしなければならない。そんななか、殺人事件が起こり…。



『うたのかいせつずかん』
(野口 義修//監修 ライトスタッフ//編 ほるぷ出版)
「アイアイ」「月の沙漠」「手のひらを太陽に」…。なんとなく覚えて歌っていた、うたの意味や世界をイラストや写真とともに紹介。歌詞の中で書かれていることがらや、難しい言葉などもくわしく解説する。



『みてみて! パンダのあかちゃん』
(大塚 健太//作 しろさめ//絵 今泉 忠明//監修 岩崎書店)
生まれたばかりのパンダは、模様がなくピンク色。お母さんはとても大切に世話をします。やがて模様も出てきて、よちよち歩きを始め…。パンダの赤ちゃんがひとり立ちするまでの成長過程を、ストーリーでやさしく伝える絵本。

※紹介文・書誌情報は「TRC MARC」より引用しています。すべて町立図書館蔵書。



木村里美さんが塩釜甚句全国大会で優勝

この度、木村里美さん(下宿・黒滝)が、2月26日(日)に宮城県塩釜市で開催された「第22回塩釜甚句全国大会」の一般の部に出場し、優勝されました。同大会の一般の部は、今回、全国から101人が出場し、入賞はもちろん、予選を通過するのも難しい狭き門の大会となっています。これを受けて、2月27日(月)に里美さんや父の和夫さん、母のえよ子さんなどが役場を訪れ、村岡町長と高橋副町長、本多教育長に大会結果の報告と今後の意気込みを語りました。大変おめでとうございます。木村さんの今後益々のご活躍を応援しています。



夕方6時の時報をリニューアル 大石田を感じる新しい4曲に

この度、夕方6時の時報をリニューアルしました。新しく放送しているのは、音楽家の小畑亮吾さんが制作した4曲です。小畑さんは大石田AIRでたびたび町を訪れており、「夕刻のヴァイオリン弾き」や「空っぽ温泉コンサート」などを行いながら、季節ごとに変化する大石田オリジナルのメロディを生み出しました。メロディは、3か月毎に切り替える予定で、4月からは春のメロディに切り替えられる予定です。3月10日(金)には、虹のプラザ「エントランスホール」でリニューアル記念ミニコンサートが行われ、小畑さんの生演奏や地域おこし協力隊の大橋隊員のダンスが披露されました。ヴァイオリンの流麗な旋律とダイナミックなダンスに来場者は見入っていました。



園児が絵本や紙芝居を楽しむ 保育園で絵本などを読み聞かせ

絵本や紙芝居の読み聞かせが、2月27日(月)にふたば横山保育園で行われ、園児13人が参加しました。これは、町立図書館が定期的に実施しているもので、司書などが保育園を訪問し、園児に絵本の読み聞かせを行っています。この日は、司書による絵本の読み聞かせのほか、鷹巣絵本読み語りの会(鈴木紀恵代表)のメンバーによる絵本や紙芝居の読み聞かせも行われ、メンバーの表情豊かな読み聞かせに、園児たちは目を輝かせながら、聴き入っていました。